

南城市文化センターシュガーホールに隣接する

野外ステージつきしろ広場でのジャズコンサート。

国内外で活躍するミュージシャン達が世代を超え、

ジャンルを超えて自由な発想のもとシュガーホールに集結します。

「型にはまらないのがジャズ」

今回もあらゆるスタイルでジャズを遊びます。

Jazz in Nanjo

jazz in 南城 all stars



こはもと正 a.sax

12歳よりサックスを始める。
86年大森明に師事。
92年に渡仏。
95年帰国後は、屋良文雄、香村英史をはじめ沖縄内外のミュージシャンと共に演奏。
琉球チムドン楽団のメンバーでもあり、日中親善大使、日米桜祭り百周年祭などに参加。その他、ラジオ、TVにも多数出演。



有田 康信 t.sax

宮崎県延岡市出身。
1989年沖縄へと渡りサックスを吹き始める。
幾多のサポートメンバーやレコーディング等に参加、その大胆で優美な即興的音楽感性には圧倒的な存在感があり数多くのミュージシャンやオーディエンスから高い評価を得ている。
現在、県内外のライブハウスやイベントなどで活動中。



広瀬 千代 piano

横浜市出身。幼少期よりピアノ実技、作曲・編曲等を学ぶ。2002年、佐藤允彦氏プロデュースによる自身のオリジナル・ピアノソロ・アルバム、『Vattnets Musikaliska Verk』水の小品集をイースト・ワークス・エンタテインメントよりリリース。ジャズ、ブラジル音楽を中心に、ライブ活動やアルバム制作のサポートを行う。2012年より沖縄県を拠点とし、リゾートホテル、ライブバー、イベントなどで活動中。



高尾 英樹 bass

"element of the moment"として台北国際ジャズフェスティバル、金沢ジャズストリート、Jazz in 南城等様々なイベントライブに出演。
琉球チムドン楽団としてアメリカや中国、台湾、ロシアツアーや豪華客船内のシスターホールへの出演。
県外・海外アーティストのライブサポート等、幅広く活動している。



田場 龍之介 drums

沖縄県出身。ドラマー。Live & Ber Reverseにて4年間専属ドラマーとしてオールディーズ、ディスコ、ポップスなど様々なジャンルを演奏。その後は主に県内のジャズクラブなどでジャズを学び、2016年2月よりアメリカへ音楽修業修行へ。
テキサス、ニューオーリンズ、ニューヨーク等様々な場所でセッションに参加。
帰国後もジャンル問わず各地で精力的に活動中。

真境名 陽一 x 萩原 亮



真境名 陽一 bass

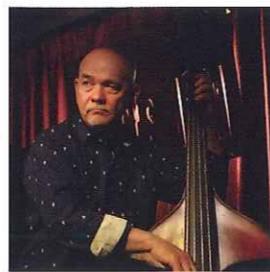
那覇市出身。
琉球民謡、ロックなどに親しむ。後にジャズの生演奏を初めて聞いて感動、特にBassに惹かれて独学で始める。ジャズ理論、演奏法など、Sax奏者、アレンジャーの故、友寄隆生氏に師事。後に氏のレコードアルバム「DAHNAH」に参加。
現在県内外のさまざまなジャンルのミュージシャンと共に演奏しながら、ジャズ系のライブハウス、イベントなどで活躍中。



萩原 亮 gt

長野県出身。
10歳から耳コピーやアドリブ演奏などを始め学生時代はジャズ、ロック、ブルース、R&B、ハードロック、ブラジリアン、フラメンコ、クラシック、民族音楽等様々な音楽に傾倒し研究する。
上京後、フリューゲルホーン&ヴォーカルのTOKUのバンドに5年間レギュラーギタリストを務める。その他にも数々のアーティストのライブやレコーディングに参加。

西川 勲 x 知念 嘉哉 x 櫻井 萌



西川 勲 ※ a.bass

尚美高等音楽学園中退後帰沖。
米軍キャンプでプロのベーシストとして活動を始める。
その後、新宿ピットインで向井滋春や渡辺加津美らとそのセッションを経て、現在は県内各地のライブハウス、ホテルなどを中心にライブ活動をおこなっている。



知念 嘉哉 gt

那覇市出身。
11歳より独学でギターを始める。
琉球大学短期学部卒業後、渡米。ニューヨークのロングアイランド大学フルックリン校にてジャズを学ぶ。
2004年帰沖。現在沖縄県内のライブハウス、コンサート等で演奏活動を行う。



櫻井 萌 piano
那覇市出身。
4歳からクラシックピアノを始める。
武蔵野音楽大学ピアノ科へ入学。
大学卒業後は、沖縄へ戻り、昔から憧れていたジャズピアノへ転向。
現在は、県内ジャズクラブやホテルでのレギュラーピアニストとして出演する他、真栄里英樹BigBandやOJAジャズオーケストラのピアノパート、ジャズイベントやパーティー演奏、基地内での演奏を行う傍ら、自宅にて指導を行っている。

KGK



川崎 翼也 guitar, effect

上地 gacha 一也 double-bass, effect

城間 和広 drums, toy

KgKはジャズをベースにエレクトロニカやポストロックの手法を取り入れた新しい感覚のジャズバンド。
2005年にファーストCDを発売。浦添のgrooveを中心にライヴをおこなっている。
また真夏の夜のジャズイベントと題したDJイベントJAMMETRADE featuring DDJ(Disques Du Japonais)ロトスや(remembrance left behind the last word vol.1)K-mindなどのハードコアイベントにもゲストで参加する。
2006年にはハモンドオルガンの酒井潮とも共演。
ジャズクラブ以外にも活動の幅を広げている。

与世山 澄子 & フレンズ



与世山 澄子 vocal

1940年、八重山諸島の小浜島に生まれる。
16歳でデビューし、1957年、ボブ・ホープとレス・ブラウン楽団と共に演奏。1972年の本土復帰まで、米軍基地のクラブでフルオーケストラをバックに活動する。復帰の年にジャズスポット「インタリュード」をオープン。お店での演奏の傍ら、本土公演も増えジャズ評論家や著名人から賞賛される。

1983年、待望のファーストアルバム「イントロデュージング」発売。

1984年、ビリー・ホリディのピアノ奏者であった世界的ピアニスト、マル・ウォルドロンとの共作「ウイズ・マル」を、1985年には3rdアルバム「DUO」を発表。

2005年には、20年ぶりの新作「インタリュード」をリリース。

現在も沖縄はもとより、全国でのライブ公演を中心に精力的に活動中。



佐山 こうた piano

東京都出身。
ボストンのバークリー音楽院でジャズとポピュラー音楽理論を学び、2004年より日本で活動を開始する。
2010年には自身名義のアルバム「流出」を発表する。

由紀さおり、サーカス、May J、前野健太など、シンガーの伴奏者やバンドリーダーとして高い信頼と評価を得ている。
2020年は松尾スズキ作演出の舞台「フリムンシターズ」でキーボード兼バンドリーダーを務めるなど、幅広い分野で活躍中である。



西川 勲 (※上記参照)



中村 亮 drums

那覇市出身。
1998年にバークリー音楽大学入学。卒業後、Bostonを拠点にプロ活動を開始。
ドラマーとしての活動に加え、ミュージックディレクター、プロデューサー、アレンジャーとしても活動。
2015年拠点をドイツへ。ベルリンにて4年間の音楽活動を経て2019年に帰沖。
現在沖縄では演奏活動と並行して音楽事業のディレクターなども行っている。